

農山漁村地域整備計画 事後評価書

令和 3年 1月 12日

計画の名称	山形県漁港漁村整備計画		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象	酒田市、鶴岡市、遊佐町
計画の目標			

1. 海岸保全施設整備事業
 冬季風浪や台風による越波被害を防止し、安心・安全な漁村の形成を図る。
 漁港海岸施設の長寿命化計画を策定し、適切な施設の維持管理を実施する。

計画の成果目標 (定量的指標)

1. 海岸保全施設整備事業
 堅苔沢漁港海岸において、高潮対策により、被害想定区域面積0.82haを解消する。
 油戸漁港海岸において、高潮対策により、被害想定区域面積1.10haを解消する。
 山形沿岸6地区において、長寿命化計画を平成30年度まで策定し、適正な施設の維持管理を実施する。
 女鹿地区海岸において、長寿命化計画を平成30年度まで策定し、適正な施設の維持管理を実施する。
 鶴岡沿岸3地区において、長寿命化計画を平成30年度までに策定し、適正な施設の維持管理を実施する。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H〇〇当初)	中間目標値 (H〇〇末)	最終目標値 (H〇〇末)	備考

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	453 百万円	A	453 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	そのほか関連する事業 (D)	0 百万円	A : 基幹事業 B : 関連事業 C : 効果促進事業 D : そのほか関連する事業
1. 海岸保全施設整備事業	合計 (A+B+C+D)	453 百万円	A 1	453 百万円	B 1	0 百万円	C 1	0 百万円	そのほか関連する事業 (D 2)	0 百万円	
	合計 (A+B+C+D)		A 2		B 2		C 2		そのほか関連する事業 (D 2)		
	合計 (A+B+C+D)		A 3		B 3		C 3		そのほか関連する事業 (D 3)		
	合計 (A+B+C+D)		A 4		B 4		C 4		そのほか関連する事業 (D 4)		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
第三者委員会である「山形県公共事業評価監視委員会」から意見を聴取し評価を行う	整備計画期間の翌年度
	公表の方法
	ホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 山形県漁港漁村整備計画関係事業										全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	交付対象 (事業実施主体)	関係市町村名	事業内容	事業実施期間 (年度)					
							H27	H28	H29	H30	H31	
A1 農山漁村地域整備計画関係事業												
1-1-01	海岸保全施設整備事業	高潮対策	堅苔沢漁港海岸	山形県	鶴岡市	護岸改良 L=173.5m					275	
1-1-02	海岸保全施設整備事業	高潮対策	油戸漁港海岸	鶴岡市	鶴岡市	消波工嵩上げ L=84.7m					126	
1-1-03	海岸保全施設整備事業	長寿命化計画策定	山形沿岸6地区	山形県	酒田市、鶴岡市、遊佐町	長寿命化計画策定					40	
1-1-04	海岸保全施設整備事業	長寿命化計画策定	女鹿地区海岸	遊佐町	遊佐町	長寿命化計画策定					3	
1-1-05	海岸保全施設整備事業	長寿命化計画策定	鶴岡沿岸3地区	鶴岡市	鶴岡市	長寿命化計画策定					9	
(小計)										453		
合計										453		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		1. 海岸保全施設整備事業 高潮対策を実施し、高潮に対する被害想定面積1.92haが解消された。 海岸保全施設の計画的な補修・改修のための長寿命化計画を県内すべての漁港海岸において策定した。				
II 定量的指標の達成状況	指標1-1	堅苔沢漁港海岸において、高潮対策により被害想定区域面積0.82haの解消	最終目標値	0.82 ha	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成した。
			最終実績値	0.82 ha		
	指標1-2	油戸漁港海岸において、高潮対策により被害想定区域面積1.10haの解消	最終目標値	1.10 ha	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成した。
			最終実績値	1.10 ha		
	指標1-3	山形沿岸6地区において、長寿命化計画を平成30年度まで策定し、適正な施設の維持管理を実施	最終目標値	-	目標値と実績値に差が出た要因	計画を策定した。
			最終実績値	-		
	指標1-4	女鹿地区海岸において、長寿命化計画を平成30年度まで策定し、適正な施設の維持管理を実施	最終目標値	-	目標値と実績値に差が出た要因	計画を策定した。
			最終実績値	-		
	指標1-5	鶴岡沿岸3地区において、長寿命化計画を平成30年度まで策定し、適正な施設の維持管理を実施	最終目標値	-	目標値と実績値に差が出た要因	計画を策定した。
			最終実績値	-		
3. 特記事項（今後の方針等）						
<p>整備計画の目標を実現するために、県内漁港海岸において計画的に事業実施した結果、指標に掲げた目標値を達成し、事業効果の発現が図られた。</p> <p>海岸保全施設の中には築造後相当な年月を経過しているものが多く、策定した長寿命化計画に基づく適切な施設の維持管理を実施していくとともに、近年頻発する台風や低気圧に対応した高潮対策等、安心・安全な漁港海岸整備を引き続き推進する。</p>						